

この頁より合計3ページにご回答の上、2頁で解説のウェブ回答、FAX等にてご返送下さい。

平成29年衆議院議員選挙に際して  
**LGBT（性的指向・性自認）をめぐる課題に関する  
 各立候補者の政策と考え方に関する調査<調査票>**

平成29年10月  
 LGBT法連合会

立候補（予定）者のお名前（ **井福美年** ） 所属政党（ **日本共産党** ）

（ **宮崎第3** ）選挙区 ・ 比例区

連絡用お電話番号： **0986-22-0152**

問1 貴殿が今回の衆議院議員選挙に立候補される際の「個人の選挙公約」に、何らかのLGBT支援・権利確保政策は既に含まれていますか？将来はいかがでしょうか？（単独回答）

- ① LGBTの課題として、既に含まれている  
 2. 様々な少数者の支援・権利確保を謳う中に含まれている  
 3. 将来入る可能性はある  
 4. 将来入る可能性はない  
 5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問2 個人としての、LGBT当事者への接し方について、お伺いします。ご家族や友人からLGBTであることを、もし告白（カミングアウト）されたら、あなたはどうかされますか？（複数回答可）

- ① その人を尊重し応援したいと思う  
 2. 距離をおきたいと思う  
 3. 差別や偏見で苦勞するだろうから、異性愛者としてや、戸籍上の性別のままで生きるように諭す  
 4. 答えられない／分からない  
 5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問3 LGBT支援政策の下記の①～⑦の課題各々に関して、法制度や行政がどのように対応すべきか、ご自身のお考えを選択肢1～5から選び、ご記入下さい。

	法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とするべきである	法律にて具体策は規定せず、行政(省庁・自治体)の裁量に委ねるべきである	現場の裁量にゆだねるべきである	わからない	その他/ 1-4から選択肢を選んだうえでの補足、等(自由回答)
① 性的指向・性自認と、LGBT当事者の直面する困難について、広く社会に教育・啓発を行う	①	2	3	4	5
② 学校教育において、多様な性を学習する事を通じて、LGBTへのいじめ・差別を防止する	①	2	3	4	5
③ 国・自治体の各レベルで、LGBT(性的指向・性自認に係る)の困難解消に向けた、基本計画を策定し実施する	①	2	3	4	5
④ 学校・職場における、LGBTへのいじめ・ハラスメントの防止体制を確立する	①	2	3	4	5
⑤ 困難を抱くLGBTに対する、相談・支援の仕組みを、学校・職場等に整備する	①	2	3	4	5
⑥ LGBTに対する(性的指向・性自認に係る)、差別や不利益取扱いを防止・禁止する法律やルールを制定する	①	2	3	4	5
⑦ 施設・職場・学校等にて、LGBTに配慮した、サービスや施設面の対応を推進する	①	2	3	4	5

問4 世界では、現在41の国と地域で同性婚が制度化され、他の多くの国・地域では同性間に適用できるパートナーシップ制度が広がっています。同性どうしの二人の場合、現行の日本の婚姻制度に当てはまらないため困難に陥る例が多く、異性間と同様・同等に、法的認知・サポートを受けられるようにする法制化を望む声が高まっています。どのような対応が望ましいとお考えですか？（複数回答可）

- ① 同性間でも男女と同じ婚姻制度を適用できるようにすべきだ
2. 現在の婚姻に加えて、別途同性間だけのためのパートナーシップ制度を設けるべきだ
3. 現在の婚姻に加えて、（事実婚など異性間でも、）同性間でも利用できるパートナーシップ制度を設けるべきだ
4. 各自治体が、条例や首長のリーダーシップにて、同性間の関係を認知する宣誓・証明等を行う仕組みを広げていくべきだ（渋谷区、世田谷区、伊賀市、宝塚市、那覇市、札幌市等の例にならうい）
5. こうした制度は異性間のものであるべきで特に必要ない
6. 答えられない／分からない
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問5 貴殿が当選した暁には、様々な困難に直面するLGBT当事者を支援する為、ひとりの国会議員としてどのような事が出来るとお考えでしょうか？ ご自由にお書き下さい。これまでのご経験や実績を踏まえてお書きいただいても結構です。

私は、今までLGBTの人に身近に接したこともなければ、その人の悩みを聞いたこともない。それは、統計上の数値を見れば明らかなように、LGBTの人が私の身近にいなかったのではなく、LGBTへの誤解や偏見が強いために、それが表面に現れなかったためと思われる。これは憲法の原則「すべての国民は、個人として尊重される」から言っても許されないことである。

現在でも誤解や偏見が根強く存在しているために、LGBTの人自身が自分の性的指向や性自認を否定的にとらえ、強い疎外感や社会不信、自己否定にかられることが多いと思われる。したがって、こうした人たちも、同じ一人の人間として、堂々と自分の性的指向や性自認を表現でき、個性豊かに暮らせる社会をつくることが求められている。

LGBTの人たちが、差別や偏見のために肩身の狭い思いで生活したり、ありのままの自分を表現できなかつたりするような社会は、健全で個性豊かな社会とは言えない。LGBTの人たちが暮らしやすい社会ほど、その社会のすべての構成員にとっても暮らしやすい社会といえよう。

私は、LGBTの人たちへの偏見と差別を取り除き、人権と個性豊かな生活が保障される社会実現のために取り組んでいきたい。

\* 質問は以上です。記入漏れがないか念のためご確認の上、ご返送下さい。ご多忙の中、ご協力いただき誠にありがとうございました。